

提出期限：令和7年3月21日(金)

令和 7年 2月 7日

山形大学「つなぐちから。」 社会共創活動推進プロジェクト
実施報告書

報告者名	白石哲也	
団体名および構成員 ※団体で活動を行った場合のみ記載 (欄が足りない場合は行を追加して記入してください。)	団体名	
	氏名	所属
	白石哲也	学士課程基盤教育院・准教授
	松本剛	人文社会学部・教授
	奥野貴士	理学部・教授
	五十嵐 悠	山形県水産研究所・研究員
	高木牧子	山形県水産研究所・主任研究員
活動名	飛島魚醤の伝統をつなぐ	
連携して活動を行ったプラットフォーム加盟機関名	山形県・山形県水産研究所	
活動報告	<p>≪活動内容≫ 本活動では、申請者らによる魚醤調査の成果を踏まえ、山形県水産研究所と連携して、酒田でのサイエンス・カフェを実施した。また関連して、山形県水産研究所のメンバーも含め、ベトナムでの国際セミナーで飛島魚醤の紹介を実施した。</p> <p>≪実施した効果≫ 実施した効果は非常に大きかった。まず、飛島の活性化を目指す会社とびしまや酒田市民の方々と飛島魚醤について、様々な議論を行うことができた。また、参加者には山形で魚醤を製作している業者や料理人の方などがおり、山形の活性化に向けて協働していく話し合いもできた。</p> <p>また、その後、ベトナム・ダナン市にて魚醤に関する国際セミナーを実施した。セミナーでは、飛島魚醤の紹介や日本魚醤とベトナムの魚醤についての意見交換会が行われ、新たな研究展開が見えてきた。今後、山形の活性化を目指した魚醤の研究活動を地元の人々とローカル展開しつつ、ベトナムの研究者や企業とコラボした社会共創活動を展開していく基盤を構築することができた。</p>	

(裏面あり)

実施スケジュール	≪スケジュール≫ ・2024年3月末日 魚醤に関する書籍の刊行（『研究者、魚醤と出会う』） ・2024年6月28日 山形県水産研究所にて打ち合わせ ・2024年10月8日～9日 能登半島調査 ・2024年11月9日 サイエンス・カフェの実施 ・2024年11月10日～14日：ベトナムにて、Danang Biotechnology Center（ベトナム国）との魚醤に関する国際セミナーを開催						
支援金の用途報告	合計 95,000 円						
	(内訳)	(品名・使途 他)	(数)	×	(単価)	=	(金額)
	チラシ	チラシ	1	×	1,760	=	1,760円
	旅費	旅費	1	×	58,820	=	58,820円
	高速道路料金	高速道路料金	1	×	3,760	=	3,760円
	会場使用料	会場使用料	1	×	26,500	=	26,500円
	魚醤に関する文具・備品	魚醤に関する文具・備品	1	×	4,160	=	4,160円
次年度の計画について	来年度は、今回のサイエンス・カフェ及び国際セミナー等で連携することになった方々と、新たな魚醤研究を実施する。すでに、魚醤製作に関しては、サイエンス・カフェで出会った人々と共同開発を検討しており、みちのくGAPファンドなどへの申請を進めている。また、来年度は山形県水産研究所と連携して、ベトナムでの国際シンポジウムも開催する予定であり、本助成を基盤に大きく展開していく。						
本事業へのご意見・要望							
活動に関するHPや情報がありましたら、URLの添付をお願いいたします。	https://yure.id.yamagata-u.ac.jp/posts/102/ https://www.instagram.com/yamagata_oishisakana_lab/p/DCgY7XhyRpM/?img_index=1 https://yure.id.yamagata-u.ac.jp/posts/107/ https://dbc.danang.gov.vn/tin-tuc/seminar-nuoc-mam-len-men-truyen-thong-viet-nam-nhat-ban-tu-di-san-van-hoa-den-co-hoi-doi-moi-cong-nghe-phet-trien-thi-truong/						

1 この報告書はA4版表裏1枚以内で作成の上、メールに添付して提出してください。

問い合わせ先：山形大学総務部総務課社会共創推進事務室
 TEL：023-628-4615 MAIL：yu-shakaikyouso@jm.kj.yamagata-u.ac.jp